

母性看護学方法論Ⅱ	2年・後期	1単位	教授 堀金幸栄 特任講師 中島初江 助教 倉林 梢
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210792

1. 授業のねらい・概要

本科目は、産褥期における褥婦の身体的、心理的・社会的特徴と健康・健康問題の看護について学習する。さらに、新生児の生理的特徴と異常を理解し看護を学ぶ。

2. 学修の到達目標

1. 褥婦の身体的、心理・社会的特徴と異常について理解できる。
2. 褥婦の看護とその家族への援助について理解できる。
3. 新生児の生理的特徴と異常、胎外生活適応のための看護について理解できる。
4. 育児支援の必要性について理解できる。
5. 褥婦・新生児に対する看護過程の展開ができる。

3. 授業の進め方

講義（視聴覚動画含む）、演習（Google classroom で看護技術動画の視聴含む）、個人ワーク、グループワーク

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	産褥期の経過① 退行性変化・全身の変化 褥婦と家族の看護① 異常のある褥婦の看護①	講義	予習：テキスト P208～235、264～269、 「産褥期の定義」「産褥の生理と看護」「産褥期の異常」を読む。 復習：産褥の生理、産褥期の異常と看護についてまとめる。	中島初江
2	産褥期の経過② 進行性・心理的变化 褥婦と家族の看護② 異常のある褥婦の看護②	講義	予習：テキスト P238～260、270～292、「母乳育児と看護」「産褥期の異常」を読む。復習：母乳育児支援、産褥期の異常と看護についてまとめる。	中島
3	新生児の生理① 出生直後の観察と看護 新生児の異常と看護	講義	予習：テキスト p294～350、「新生児の看護」「新生児期の異常」を読む。 復習：新生児の呼吸、循環、代謝、原始反射と日齢に応じた変化や観察項目についてまとめる。	倉林梢
4	新生児の生理② 退院までの観察と看護	講義	予習：テキスト p294～350、「新生児の看護」「新生児期の異常」を読む。 復習：新生児の消化吸収、皮膚の観察項目、臍帯の日齢に応じた変化と観察項目、スクリーニング検査、早産・低出生体重児の看護についてまとめる。	倉林
5	演習内容の説明・演習事前課題	講義	予習：技術テキスト 131～140、154～164、186～224、「褥婦の看護にかかわる技術」「新生児の看護にかかわる技術」を読む。 復習：レジュメやテキストを参考に演習項目の技術の確認を行う。	倉林

6	ウエルネスの看護過程	講義	予習：実践テキスト p 218～219、「褥婦のアセスメント」を読む。 復習：ウエルネスの視点で対象をとらえることの意味をまとめる。	堀金 幸栄
7	演習：褥婦の健康診査と育児技術	演習	予習：Google classroom の技術動画を繰り返し視聴する。演習の事前課題を記載する。 復習：演習評価表を記載する。	倉林・堀金 中島 他
8	演習：新生児の観察と沐浴	演習	予習：Google classroom の技術動画を繰り返し視聴する。演習の事前課題を記載する。 復習：演習評価表を記載する。	倉林・堀金 中島 他
9	褥婦と新生児のアセスメント	講義	予習：実践テキスト p 218～236、「褥婦のアセスメントと看護」「母親になる過程へのアセスメント」、p 304～309、「新生児のアセスメント」を読む。 復習：褥婦と新生児のアセスメントの視点を整理する。	堀金
10	看護過程の展開：産褥期① グループ討議：身体面	講義・演習	予習：実践テキスト p 218～236、「褥婦のアセスメントと看護」「母親になる過程へのアセスメント」、p 304～309、「新生児のアセスメント」を読む。 復習：グループ討議の結果を踏まえ、褥婦の身体面のアセスメントについてシートにまとめる。	堀金
11	看護過程の展開：産褥期② グループ討議：心理面・母親役割・家族役割	講義・演習	予習：事例を読み、心理面・母親役割・家族役割のアセスメントを考えシートに記入する。 復習：グループ討議の結果を踏まえ、褥婦の心理面・母親役割・家族役割のアセスメントをシートにまとめる。	堀金
12	看護過程の展開：産褥期③ グループ討議：産褥期の看護計画の立案	講義・演習	予習：事例を読み、必要な看護を計画する。 復習：グループ討議の結果を踏まえ、産褥期の看護計画についてまとめる。	堀金
13	看護過程の展開：新生児期① グループ討議：胎児期の発達と新生児期の生理的変化	講義・演習	予習：事例を読み、胎児期の経過や新生児期の生理的変化が順調かどうか、アセスメントを考えシートに記入する。 復習：グループ討議の結果を踏まえ、在胎週数に応じた発達をしているか、新生児期の生理的変化に適応しているかシートにまとめる。	堀金
14	看護過程の展開：新生児期② グループ討議：新生児の看護計画	講義・演習	予習：事例を読み、新生児に必要な看護を考える。 復習：グループ討議の結果を踏まえ、新生児の看護についてまとめる。	堀金
15	看護過程の展開：発表とまとめ	講義・演習	予習：グループで発表できるよう準備する。 復習：発表を聞いて追加や修正を行う。	堀金

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）70％，演習15％，看護過程15％で総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：ナーシンググラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践 メディカ出版
ナーシンググラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術 メディカ出版
参考文献：系統看護学講座 母性看護学[2] 母性看護学各論 医学書院

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲について最低1時間の予習及び授業内容について1時間以上の復習を行うこと。

Google classroomの配信動画を繰り返し視聴して，必要な看護技術の手技を確実に覚えて演習に臨むこと。

8. 受講上の留意事項

母性看護学実習Ⅰ，母性看護学実習Ⅱの先修科目である。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容を確認して返却する。内容に不備があるものには再提出を求める。
試験終了後口頭で試験問題の解答と解説を行う。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における助産師としての実務経験を活かして，講義・演習を行う。